

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 18 日

事務事業名		地域福祉計画策定事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	010401000928
総合計画の施策名		O104 地域福祉の推進				単独/補助	単独	所属課	O40101 社会福祉課
政策体系	政策名	O1 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり						課長名	
	施策名	O4 地域福祉の推進						グループ	社会福祉G
	手段名	O1 ①地域の活動に参加できるまちづくりの推進						担当者名	
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	O1	O3	O1	O1	O2	OO	社会福祉総務事業		
法令根拠	社会福祉法、桜川市地域福祉計画策定委員会設置要綱、桜川市地域福祉計画調査検討委員会設置要綱								

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>【業務の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域福祉計画の策定は、社会福祉法第107条 (市町村地域福祉計画) の規定に基づき、各地方自治体が主体的に取り組むこととなっている。 地域福祉計画期間は、桜川市の基本計画である桜川市第1次総合計画との連携を図るため、平成23年度～平成28年度までの6年としている。第2次についても総合計画と合わせるため平成29年度～令和3年度までの5年間を計画とした。 第3次についても総合計画 (後期基本計画) に合わせ令和8年までの5年間を計画するため令和3年度に策定をした。 保健・医療及び福祉関係者、市民団体等の関係者、学識経験を有する者等を委員とする計画策定委員会を設置し、計画策定に関する事項を審議する。 	<p>【担当が行った業務の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画策定委員会に関すること ①計画策定委員会の選任・委嘱 ②会議の開催 ③委員への報酬支払、委託業者への委託料支払 計画策定に関すること ①委託業者との打合せ ②アンケート調査の実施 ③計画の振り返り (現状と課題) ・関係課へ調査依頼、とりまとめ ④計画 (案) の作成・印刷製本

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・地域福祉計画の策定は、社会福祉法第107条 (市町村地域福祉計画) の規定に基づき、主体的に取り組む。	計画策定委員会開催回数	回	0.00	0.00	1.00	3.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
福祉活動に取り組んでいる人	市民	人	36,794.00	36,120.00	35,356.00	34,734.00	34,112.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
地域で福祉活動を行う団体が増え、活動が活発に行われる。	地域活動に取り組んでいる人の割合	%	18.70	21.20	21.50	22.00	22.50
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)	期間限定総投入量
県支出金	千円	0	0	0				
地方債	千円	0	0	0				
使用料・手数料	千円	0	0	0				
その他	千円	0	0	0				
一般財源	千円	0	0	2,820				
事業費計 (A)	千円	0	0	2,820				
正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人				

06年度事業費 実績 (千円)				07年度事業費 予算 (千円)			
				01 報酬	45		
				10 需用費	3		
				12 委託料	2,772		
				合計	0	合計	2,820

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	第4次地域福祉計画策定に係るアンケート調査	第4次地域福祉計画策定	当該年度における事業はない

事務事業名	地域福祉計画策定事業	事務事業No.	10401000928	所属課	社会福祉課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
<ul style="list-style-type: none"> ・桜川市の基本計画である桜川市第1次総合計画との連携を図るため、平成23年度～平成28年度までの6年としている。第2次についても総合計画と合わせるため平成29年度～令和3年度までの5年間を計画とした。 ・第3次についても総合計画（後期基本計画）に合わせ令和8年までの5年間を計画するため令和3年度に策定をする。 ・保健・医療及び福祉関係者、市民団体等の関係者、学識経験を有する者等を委員とする計画策定委員会を設置し、計画に関する事項を審議する。 					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
計画策定により終了するのではなく、その後の進捗管理に努めていただきたい。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 社会福祉法第107条（市町村地域福祉計画）の規定に基づく計画の策定であり、市の政策体系に結び付いている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 社会福祉法第107条（市町村地域福祉計画）の規定に基づく計画の策定であり、公共関与は妥当である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 社会福祉法第107条（市町村地域福祉計画）の規定に基づく計画であり、これまでの計画の振り返りやアンケート調査の基に、保健・医療及び福祉関係者、市民団体等の関係者、学識経験を有する者等を委員とし、専門的見地から審議をいただく。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 社会福祉法第107条（市町村地域福祉計画）の規定に基づく計画の策定であり、廃止することはできない。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 社会福祉法第107条（市町村地域福祉計画）の規定に基づく計画の策定であり、他に手段はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業を委託し、効率的に事務事業を遂行し、委託業者との連携した取り組みの中で素案の作成、会議の開催等に時間を要し、事業費・人件費を削減する余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 社会福祉法第107条（市町村地域福祉計画）の規定に基づく計画の策定であり、一部の受益者に偏っているとは言えない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	第3次地域福祉計画の3年目として、進捗管理に務めた。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要）																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>